

県医労新聞

2011年12月

盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合

電話 019-623-8271

FAX 019-623-8273

編集発行人

中野 るみ子

毎月1回発行1857号(月刊72号)



県医労フレッシュセミナー (10月28日～29日 雫石町「ホテル森の風鶯宿」)

目次

- 1 P 地公闘県庁座り込み
2011年度統一要求書提出
クリアファイルを活用しよう
- 2 P 支部ニュース
- 3 P フレッシュセミナー
- 4 P 11・13 県民大集会
なくせ原発[10・30大集会inふくしま]
- 5 P 看護部会ニュース
- 6 P 女性部ニュース
- 7 P 青年部ニュース
- 8 P つぶやき、とんがらし
10月号パズル当選者
- 9 P 職場川柳 懸賞パズル
お知らせ
12・1月の予定



医労連秋の全国キャラバン行動 (11月1日 盛岡市内)

現給補償廃止見送り

月例給与引き下げ

11・11県庁座り込み

県職員の労働組合7団体

で構成する地公共闘では、

現給補償廃止を最大の争点に県人事課長、総務部長と交渉を重ねて来ましたが、

17日の県総務部長交渉では、冒頭に県知事宛の大型はがきを提出し交渉に臨みました。①月例給の引き下げ改定については、

「勧告どおり条例改正案を提案したい。一時金で年間調整する」②給与構造改革に伴う現給補償の廃止については、「12月議会への廃止提案は見送る」との回答でした。また、私用車利用の長距離通勤者に係る旅費の見直し、ボランティア休暇の特例延長なども

約束しました。

県庁座り込み

地公共闘では、11月11日に「生活防衛」総決起集会を県公会堂で開催。約400人が参加し、県医労からは3支部・本部、10人が参加しました。集会後に、



座り込みで訴える〇〇副委員長

県庁4階、5階のフロア（エレベーターホール前）に座り込み、県人事課総括課長

交渉を支援しながら、生活実態、職場実態などを交流。

「給料が毎年上がるのではなく、下がりが続いている」「小遣いを減らし、それでも生活設計が成り立たない」など、同じ県職員の切

実な生活実態が訴えられ、今年の人事委員会勧告の、国に倣った引き下げに抗議し怒りのシュプレヒコールを上げました。県医労からは、年末年始問題、イエローカードの取り組みなどを紹介し、最後まで頑張ろうと発言、交流しました。

医労連キャラバン行動

亀ヶ池前で署名・宣伝行動

11月1日から9日までの4日間、岩手医労連は全国キャラバンの一環として、経営者要請と署名・宣伝署名行動を実施しました。医療局には11月1日に要請行動が行われ、同日昼時間帯には、亀ヶ池前で国会請願署名・宣伝行動を行いました。（表紙写真参照）



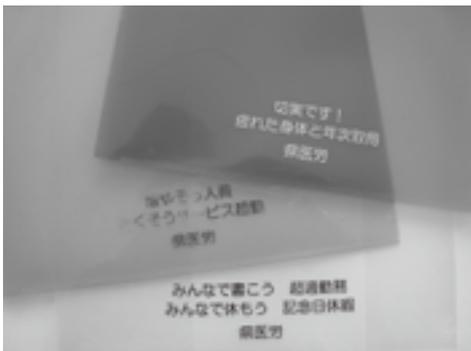
「いのちを守る」署名・宣伝行動



医療局へのキャラバン要請行動

クリアファイルを活用しよう

「みんなで書こう超過勤務 みんなで休もう記念日休暇」「増やそう人員なくそうサービス超勤」などのスローガンが入ったクリアファイルを作成しました。サービス労働をなくし、年次取得を推進する運動に活用しましょう。



バラバラになったみんなと また一緒に働きたい

大東支部を訪ねて



3月11日の大震災では内陸部の大東病院も大きな被害を受けました。一般病棟は使えなくなり、入院患者は千厩病院へ搬送されました。職員も千厩や磐井へ異動になり、現在、スタッフは30名ほどです。その大東病院を訪ね、近況を伺ってきました。

大東病院では、患者さん一人ひとりに時間をかけて丁寧な診療をしてきました。職員はリハビリに対する誇り、プライドを持ってやってきました。それだけに、震災後、バラバラになったスタッフがどうしているか気にかかります。早く、一緒に働きたいという思いでいっぱいだと思います。

患者さんからも早く検査と入院ができるようになってほしいという声が聞かれるそうです。「健康懇談会」400回記



地震で使えない正面玄関

念式典の時、住民の方が大東病院の歴史を講演して下さいました。大東病院はそれだけ、地域に根ざした病院だと言えます。高齢者の多い地域だけに大東病院の早期再建は切実な課題です。

●震災エピソード●

「何かあったらそれをたいて知らせて」。地震直後、千厩病院に搬送された入院患者全員に、氷枕の留め金をナースコール代わりに患者全員に持たせました。余震が続く中、不安でいっぱいでした。翌朝、あつちからも、こつちからも留め金をたたく「カチャ、カチャ」とう音が聞こえました。それを聞いた時、「あゝ、みんな生きている」と思い、ホッとしたということです。

癒される♡

3支部合同
初の試み！

3支部合同ギターの夕べ

11月18日きくすい北上店にて中部支部、江刺支部、胆沢支部の3支部共催で「クラシックギターの夕べ」を開催し、総勢41名が参加しました。初の3支部合同開催は、夏の終わりから準備を始め、それぞれの支部役員が尽力し、開催にこぎつけることができました。ギターとバイオリン、ギタロンの美しい音色は、お店の雰囲気とびつたり



合い、美味しい料理もあり、とても好評でした。
▼参加者の感想から
●ライブはやはりよいですね！料理もきれいで美味しかったです。
●弦の音色とお酒に酔いました。(笑)もちろん、お料理もバッチグー！
●EL・LAZOさんの演奏に癒されました。クラシックを久しぶりに聴こうかと思いました。
●これで又仕事に頑張れる!! と思いましたが、次回もよい企画期待しています。

フレッシュセミナー 学んだことを職場で活かそう



労働組合や権利などについて学ぶ

「希望年次が非番に
変えられる」など、
新採用者に人手不足
のしわ寄せがされて
いる実態も明らかと
なりました。参加者
は「年次を積極的に
取ろうと思った」な
ど、学んだことを活
かそうと、元気に
なって帰りました。

「勉強して、しかもリフレッシュできました」。今年も新人組合員を対象にフレッシュセミナーを10月28、29日、雫石町「ホテル森の風鶯宿」で開催。「組合に入ったけど、1回も参加したことがない」「最近組合に入ったという」という30歳代の方も参加したのが特徴でした。

い、開会。権利について、県医労のあゆみ、労働組合とは何か、などの講義とビデオ、本部青年部委員会が中心となったゲームも楽しみました。

セミナーの最後は、各職場の交流。5つのグループに分かれ、それぞれの職場の超過勤務の実態、書きやすさ、書きづらさ、年次取得日数などを紹介し合いました。「部分休業を毎日のように取り消し、昼時間も休めない」「年次は1日しか取っていない」

セミナーには11支部31人が参加しました。

感想文

○後輩のためにも、自分も組合の活動に協力していきたい。



この絵わかるかな？（お絵描きゲーム）



チームの団結力で見事、賞品をいただきました（夕食交流会）

○スタッフが健康に働ける環境を整えることが必要で、私を変えていく努力していかなければいけないと感じた。

○権利を主張していいんだと思うことができました。

TPP反対!

地域復興は医療の再建とともに!

11・13秋の県民大集会

大震災からの復旧・復興、原発ゼロ、環太平洋連携協定（TPP）参加阻止、消費税・庶民増税反対、地域医療の再建など県民要求実現を求める11・13秋の県民大集会が13日、盛岡市「教育会館」大ホールで開催されました。



集会後のデモ行進

主催は、国民大運動岩手県実行委員会、県内各地から約500名が参加しました。

集会前には、教育会館ロビーで県医労と岩手医大教職組の書記局メンバーを中心に「大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護の実現を」の国会署名にとりくみました。

集会は鈴木露通実行委員長（いわて労連議長）のあいさつに続き記念講演。岩手大学教授（保健管理センター所長）の立身政信氏より「原発放射能汚染と私たちのくらし」をテーマに行われました。立身氏は、放射能汚染の広がりや慢性障



県医労からの訴え

害の危険性を指摘。内部被曝と対策についても触れながら、タバコ煙に含まれる放射性物質が、喫煙の発がんリスクを高めていると強調されました。

団体からの報告は、3団体からあり、そのうち医労連を代表して県医労の釜石病院支部・〇〇〇〇さんが、看護現場の実態を告発。地域医療再建に向けた今後の支援を、呼びかけました。

集会後参加者は、「TPP参加反対」「増税反対」と訴え、デモ行進しました。

安心して住み続けられる福島を

なくせ原発! 10.30大集会 in 福島

ズズズズズ

ズズズズズ



福島市の「四季の里」で行われた「10・30大集会in福島」には、「なくせ!原発」「放射能汚染から子どもたちを守ろう」と、1万人を超える参加者が集まりました。岩手県からはバス3台、150人が参加しました。



- (右) 1万人が福島に集まった
- (中) パレードで「原発ゼロ」をアピールする岩手県代表団
- (左) なまはげもやってきた



休めない… 心も体もボロボロ ～イエローカードからの悲鳴～

医療局長 遠藤達雄様 この非情な実態を把握し改善に真剣に努力してください

●年次をまだ1日も取れていません。7対1になってから鬼のように働かされて、いつ身体をこわすか自信がありません。やめて他の病院で働く事も考えます。休みをください。

●スタッフの配置が日勤でも少なく、県病のスローガンである安心、安全な医療を提供できる状態ではとてもありません。私たちは人を相手にしています。1人1人に合わせた看護は画一的に行えるものではなく、マンパワーと時間を要します。

●大震災から半年以上がたちましたが精神的にも身体的にも、つらい毎日です。被災をして、何もかもが無くなっても毎日の業務は今までと変わらずにこなさなければならない…せめて、看護師の数を増やすか、連休を取って、ゆっくり休めるようにしてほしいです。このままでは医療事故を起こしてしまうのではないかと、心配でなりません。

●仕事はどんどん厳しくなるのに給料はどんどん少なくなっています。モチベーション維持出来ないし精神的に限界です。



合病院の色平哲郎医師が、

述べました。

2日目は、長野・佐久総合病院の色平哲郎医師が、



好評だった色平哲郎医師の講義

第26回看護・介護講座が10月29、30日に盛岡の産ビルで行われ、全国から約100名が参加し県医からは3支部・本部7名が参加しました。

1日目は、県立大学の乗田但馬講師が、県立病院の

TPP参加は医療基盤崩壊への道となると講演しました。また、労働科学研究所の佐々木司さんは夜勤を含む交代勤務の弊害と問題点について、新しい知見も紹介し、熱く述べました。

盛岡開催でしたが、県医の参加者が少なかったのは「年次が取れない」という紛れもない証拠かもしれません。増員を！

第26回看護・介護講座 in 盛岡 命を大切に する医療を

第56回はたらく女性の集会

原発ゼロ 住民本位の復興をめざそう

中央集会

10月15、16日の2日間、東京の日本教育会館で「第56回はたらく女性の中央集会」が開催されました。オープニングは親子三代で歌う、東京ぞうれっしや合唱団による「ぞうれっしやがやってきた」。一生懸命歌う姿が会場の雰囲気をも暖かくしました。記念講演は、福島県立医

科大学講師の後藤宣代さんが、福島に原発ができるまでの経過と、原発事故以後、福島では若いお母さんやお年寄りが行動を起こし、がんばっていることを報告しました。また、原発事故後の県民調査には、悪名高い放射線影響研究所も含まれているため、データがどう利用されるのか心配とも話しました。最後に「集まるのもたたかい。思いを語り

合うことから運動が始まる。この歴史に残る日に、一緒にデモ行進をしましょう」と訴えました。基調報告後のアピールでは、資生堂や日赤など全国の裁判闘争をしている仲間からの訴えがありました。2日目は大震災からの復興や社会保障、憲法など6つの分科会と2つの見学分科会が行われました。参加者は650名でした。

岩手県集会

11月5日、岩手県集会是、「それぞれの3・11 私たちができること」をテーマに盛岡市勤労福祉会館で開催されました。

集会では、全商連のDV D「中小業者の力で震災復興」を鑑賞したあと、県医労OBで陸前高田市議の大坪涼子さんが特別報告をしました。津波によって身内

や知人を失い、それぞれが辛い、悲しい思いをしてきたという話しに、涙ぐむ参加者が大勢いました。助け合って生活してきた被災地では、今も文化祭やお茶飲み会を開き、仮設住宅での人と人とのつながりを大切にしていると言います。そして「笑えるようになったことが、大きな変化です。変化を確かめに来て欲しい」と、引き続きの支援を

訴えました。その後、医療、自治体、農民、労働相談など、各分野からの発言があり、スローガン、集会アピールを採択しました。この日の集会には、63名が参加し、県医労からは4支部・本部7名が参加しました。



特別報告する大坪涼子陸前高田市議



たたかう女性の仲間からの訴え



講師の後藤宣代さん

自然いっぱい！ 東北の秋を満喫

青年部中央交流会 in 仙台



定義山・阿弥陀如来前で



大吉こい!

ときどき



三角あぶらげ いただきます

11月19日～20日、青年部中央交流会が仙台市内で開催され9支部本部19名が参加しました。
1日目は秋保・作並エリアをバスで巡る「仙台奥座敷満喫コース」と遊園地を楽しむ「仙台ハイランドコース」に分れて観光する予定でしたが、あいにくの空模様でハイランドコースは取止めにし、全員で奥座敷を廻りました。

定義山名物「三角あぶらげ」の揚げたてアツアツを食べ、ニッカウキスキー工場見学ではウイスキーの歴史や美味しいウイスキーの作り方を学び、その後は無料で試飲。オススメはアップルワインの水割りです。最後に迫力ある秋保大滝を眺め、宿泊先の「篝火（かがりび）の宿緑水亭」へ。
夕食交流会で東北の秋の味覚を味わい、夜は幻想的な篝火の露天風呂をゆっくりと楽しみました。

2日目は、夕方まで各々、観光やショッピングなどをして過ごしました。



ニッカウキスキー工場



青年部長・書記長会議
10月28日、ホテル森の風鶯宿を会場に青年部長・書記長会議が開催されました。青年部が確立していない支部が増えている中、8支部が出席し、今後の活動の具体化や支部活動の報告など交流を図りました。
交流では、新規採用年齢が引き上がっている現状にともない、青年部の年齢を引き上げてはどうかという意見などが出されました。また、今年度も全ブロックでブロック集会を開催することを確認しました。（日程は下表のとおり）

◆◆◆ブロック交流会◆◆◆

ブロック	日程	会場	内容
北部	2/19～20	つなぎ温泉	未定
中部	2/19～20	瀬美温泉	未定
南部 三陸	2/5～6	つなぎ温泉	未定

県医労青年部

スキー・スノーボード交流会

2012年1月21日(土)
～22日(日)



ホテル安比グランド&タワー

しんせき

地域の皆さんのためにも、県立病院の早期復興を願う仕事をしています。復興をめざし、一步一步できることから進んでいるつもりです。今まで支援してくださった皆さん、ありがとうございます。私たちはがんばっていきます。どうか長い目で見守って下さい。

高田支部 ミツタンママ

子ども手当が減るし、お給料も減っていく……。子育て中には、厳しい経済状態です。楽になる日はいつか来るかな……。

中部支部 子育て中

やっと最後の耐震工事が終了し、明日、引っ越し。新しい分娩室や新生児室に希望が?!これでやっと当院も通常に戻ります。

釜石支部 白くま

組合活動に参加したくても休みが取りにくくて、なかなか参加できないです。勤務表作りが大変なのはわ

かりますが……。

一戸支部 シブ柿

壮年部集会は気分転換になりました。来年も参加できたらいいな。

南光支部 ももちゃん

女性部のバスハイクで初めて「平泉・中尊寺」へ出かけて来ました。平泉文化の偉大さに心奪われ、久しぶりに心が洗われました。今、「年末・年始に向けての要求書」を提出していますが、正月も休まず働いている人のことを本当にわかってたら、もっと早く何

かなってたら、もっと早く何か

当選者発表

10月号パズル

10月号パズル「まちがいは7つ」には36名の応募があり、全員が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

- 10月号当選者(敬称略)
- おまつり(二戸支部)、まっくろくろすけ(一戸支部)、焼肉女子(中央支部)、アオカナブン、子育て中(中部支部)、かさご(胆沢支部)、ペロ(磐井支部)、よつちママ(南光支部)、ミツタンママ(高田支部)、復興のナオト(宮古支部)

とかなってるかも? Ba t、あきらめず、がんばるゾー。オー。

中央支部 いちろうの母

なんと、年金支給開始が68歳になるかもしれないというところ。この職場環境で定年まで働けるかどうかかわからないのに、いつか老後はどうしたいのかと不安になってしまおう、今日の頃です。

磐井支部 ベガ



とんがらし

企業のコンプライアンス(法令遵守)が叫ばれて久しい。今、改めて企業の隠蔽(いんぺい)体質やモラル、社会的責任が問われている。

▼カメラなどの光学・電子機器の製造販売メーカーで知られるオリンパス。内視鏡では世界7割のシェアを持ち、医療分野でも信頼性の高い優良企業とされてきた。そこに降って湧いた不

明朗な企業買収問題は、巨額な不正経理・損失隠しに発展した。損失隠しの原点は80年代後半のバブル期。バブル崩壊で株式など有価証券価格が急落し、さらに運用失敗により90年代には多額の含み損に。多くの企業は損失を処理し清算したが、オリンパスは20年近く損失を先送りしてきた。今回の問題で株価は急落し、国内外企業に買収される懸念も高まっている▼さらにもっと驚くのが、紙類の生産量で日本国内第4位の大王製紙。一〇〇億円もの巨額資金を元会長が個人的に子会社から借入れ、カジノでギャンブルに興じたとか。東京地検特捜部は、会社に損害を与えたとして会社法の特別背任の疑いで社長を逮捕した。会社からの告発を受けての強制捜査である。幼少時代は飛行機で塾通いをしてきたなど、御曹司として帝王学を学んだとされるが、一般的な金銭感覚、常識は持ち合わせていなかったようだ▼相次ぐ不祥事に、日本トップメーカーとしてのイメージは地に落ち、日本企業全体の信用にも疑問符が付きかねない状況だ。国内外の信頼回復のためにも、震災復興からの足かせとならぬよう、事件の全容解明を急いで欲しいものである(す)

あなただけの気持ちを届けます。

大きな支援の輪で東北に元気を

ウィンターキャンペーン 2011

11.1.13 30

期間中、以下の条件でお預入れ・ご契約をいただいたお客さまへ
オリジナル『ネックウォーマー & グローブセット』をプレゼント!

【定期預金】5万円以上の新規お預入れまたは増額書替え
 【積立型預金】年間積立額5万円以上の新規ご契約または年間積立額3万円以上の増額のご契約

対象取引
財形預金・エース預金のうちいずれか

職場川柳

- ◇被災地に 希望を灯す 笑顔かな
(サンタクロースより)
- ◇TPP 医療崩壊 とどめさす
(アメリカ資本)
- ◇三交替 経験してから 非番、振れ
(年末年始も働く人)
- ◇冬本番 財布の中も すきま風
(人勧のばかやろー)
- ◇ギャンブルに つぎ込む額に 驚愕し
(勤勉な庶民)

12月の予定

- 3日(土) 岩手医労連36協定・安全衛生委員会担当者会議
(ラ・フランス館)
- 8日(木) ~9日(金) 日本医労連2012年春闘討論集会(熱海)
- 14日(水) 県医労看護部会・看護指導監との懇談
- 17日(土) 拡大支部長会議(県民会館)
いわて労連青年部定期大会
- 18日(日) 県医労女性部第37回中部ブロック集会
(さくらホール)

2012 1月の予定

- 6日(金) いわて労連春闘共闘新春宣伝行動
- 7日(土) いわて労連2012年春闘共闘総会(サンビル)
いわて労連2012年新春旗開き(サンビル)
- 20日(金) 県医労春闘学習会(大観)
県医労旗開き(大観)
- 21日(土) 県医労第147回中央委員会(大観)
- 21日(土) ~ 22日(日) 県医労青年部スキー交流会(安比高原)
- 22日(日) いわて労連第44回評議員会
- 25日(水) ~ 26日(木) 日本医労連第43回中央委員会
岩手医労連第39回中央委員会
岩手医労連・同盛岡地区協新春旗開き
岩手県勤労者囲碁・将棋大会(高校会館)
- 28日(土)
- 29日(日)



懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つの間違い箇所の印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で10名の組合員に図書カードを送ります。送り先は〒0200-0023 盛岡市内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は12月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つ



まちがいは7つ



ぶやき」(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合がありますので、匿名希望の方は必ずペンネームをお書きください。ただし、当選した場合は、記念品の送り先が必要となりますので、支部名・本名の記入をお忘れなく!